

令和5年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部
補職名・氏名	部長 長江信行

組織目標兼管理職個人目標

組織目標兼管理職個人目標		達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）
目標1 イベントの実施、日帰り観光等の推進及び中心市街地活性化 国内外を対象とした観光誘客、広域観光連携及び関係団体と連携した中心市街地活性化支援	1. インバウンド事業の実施 ①TIP（インバウンド推進プロジェクトチーム）による国内外への情報発信、オンライン・トラブル・エージェントへの観光情報掲載 ②インバウンド推進協議会と連携した誘客事業の実施 2. たじみDMOと連携した観光PR及び誘客事業の実施 3. 東美濃歴史街道協議会や近隣市町村と連携した広域観光事業の実施 4. 主要イベントの開催（陶器まつり、花火大会、美濃焼祭、多治見まつり等） 5. 中心市街地活性化 ①たじみDMOと連携した活性化基本計画事業の実施 ②ビジネスプランコンテスト実施による中心市街地への出店促進及び商工会議所や金融機関等と連携した起業創業支援	1. ①10～11月セントレア・関西空港でデジタルサイネージによるPR実施、インバウンド案内人登録事業・外国人観光客アンケート実施（2月）、モデルコースやツアー造成を行いオンライン・トラブル・エージェントに10件掲載 ②インバウンド体験型ツアーを旅行カタログに掲載 2. 10月美濃焼祭でやくもイベント、11月ソトバン本社で物産展、1月大垣共立銀行石川橋支店で物産展開催 3. 春日井市と美濃焼が共催の共通返礼品を開発 4. 4月陶器まつり、7月花火大会、10月美濃焼祭、11月多治見まつりを完全開催 5. ①新計画の冊子を作成し市内全小中学校生徒児童に配布、7月びしょびしょ祭りを開催 ②14件応募、1月最終審査を実施しグランプリ決定
目標2 中小企業支援による地域経済の活性化及び陶磁器・タイル産業の振興、民間活力との連携 市況を踏まえた経済対策の実施、美濃焼産業の活性化事業支援	1. セラミックバレー構想の推進 ①セラミックバレー協議会の運営支援及びセラミックバレー展・クラフトキャンプの開催、国内外への情報発信 ②全国やきもの甲子園の開催 2. 叩峠市プロジェクトの推進 ①中国叩峠市を拠点とした美濃焼の販路拡大 ②叩峠市特産品と美濃焼のコラボ商品の開発及び意匠研と叩峠市陶芸家との人的交流 ③中国国内での地域商標「美濃焼」の取得に向けた取り組みの実施 3. 商工会議所と連携した働きプロジェクトの推進 4. 「き」業展、企業お見合い等ビジネスマッチングの開催及び新事業へ取組む中小企業への支援	1. ①9月バカリイベント社での美濃焼展示会開催支援、クラフトキャンプを可児市で開催（3月） ②9月より作品募集し全国の高校へ営業PR、29校129作品応募、1月最終審査、表彰式開催（2月） 2. ①叩峠市の美濃焼展示場オープン延期により展示商品を調整 ②叩峠市向け美濃焼ボトルの生産体制を準備 ③民間による地域商標の取得申請を支援 3. 5月・10月働こフェス開催（5月参加企業20社参加者22名・10月参加企業17社参加者32名） 4. 10月企業お見合い開催（発注企業101社・受注企業118社・商談287件）、1月「き」業展開催（125社出店）、新事業突破チャレンジ補助金を創設し事業開始
目標3 次期テクノパーク開発の調査研究及び企業誘致事業 新たなテクノパークの開発・将来の候補地の研究及び優良企業の誘致、進出企業へのアフターフォロー	①新テクノパーク開発事業の実施 ②中長期的なテクノパーク開発に向けた候補地の調査研究 ③第1期高田テクノパークへの進出企業の誘致 ④第1期高田テクノパーク使用に関するJR東海との協議、土地開発公社等関係部署との管理協議、地元自治会との連絡調整を実施 ⑤テクノパーク進出企業等の工場新設増設支援 ⑥進出企業へのアフターフォローによる地域交流の実施、地域貢献事業の促進	①土地開発公社理事会・市議会・地元区長に新テクノパークの概要説明、12月土地鑑定、隣接地権者との交渉開始（2月）、測量・詳細設計（3月）実施 ②開発候補地の調査実施 ③商談中の企業と情報交換実施 ④JR東海と協議しテクノパークを適正管理、大型車両の通行等地元区長・住民に対し情報提供実施 ⑤三光化成の新工場建設支援、計画通り2月竣工 ⑥トヨタ多治見サビセンターのフードドライブ（年5回）・11月市内小中学生の技能五輪見学・12月市内小学生の社会科見学、アマゾン青空マーケット（年5回）、アマゾン・NGKセラミックパイプの市内一斉清掃・花火清掃、トヨタ紡織の地域周辺清掃（年2回）を支援
目標4 農業振興及び森林整備の推進 地域計画等による持続的な農業振興の推進、地産地消の推進及び森林環境譲与税を活用した森林整備事業の実施	1. 地域計画等による人と農地問題の解決 ①農業振興地域の池田南・北小木・南姫・根本・小泉地区での地域計画の策定（令和5～6年度） ②新たな営農組織設立に向けた取組みへの支援 ③農業経営継続に向けた新たな担い手の発掘支援 2. 森林環境譲与税を活用した森林整備事業の実施及び林業就業移住支援 3. 農業祭の開催、農産物直売所への支援、フォーザノアの事業展開支援による地産地消の推進 4. 有害鳥獣対策の強化及び確実な捕獲体制の維持 5. 農業委員会の適切な運営及び遊休農地対策の実施、農地パトロールの効率化	1. ①6月連携キックオフ会議に参加、県・JA・農業委員会会長と7月戦略会議を開催、10月北小木・1月池田南で連携会議を開催、1月北小木で地域計画を協議 ②地域での調整実施 ③新規就農者への各種補助金申請支援 2. 12月林地台帳を整備（計1,570筆）、笠原・甘原町で森林管理意向調査（3月）、2名の移住支援実施 3. 6月駅北ファーム10周年イベント実施、11月農業祭開催、地元農産物の学校給食メニューの採用（イロジャム・ピーマン、大根、トマト）、市内産米8,000食提供 4. 狩猟免許取得支援補助の相談1件、防護柵設置費補助7件を実施 5. 農業委員会委員改選（7月）、委員新任研修実施
目標5 陶磁器の次世代を担う人材の育成及び各種支援 研究生の確保、卒業生の定住支援及び幅広いデザイン支援、技術支援の実施	1. 移住定住を促進する研究生募集、人材育成 ①JRカシマ美術画廊での展示会やishoken galleryによるPR及び国内外での研修生募集の強化 ②国際陶芸学会への団体会員加盟及び国際交流の推進 ③陶芸工房バンク、修了生雇用・定住促進奨励金、修了生創作活動支援補助金の周知・運用 ④国内新入研究生20名の確保 ⑤外国人研究生（セラミックスボ）3名の確保 2. 3Dプリンター・スクリーン等を活用したデザイン支援 ①たじみDMOや市内陶磁器・タイル関連企業等との連携による新商品開発に向けた3Dモデリング研究会の開催、デザイン試作支援 ②3DCAD講習会による造形技術者支援	1. ①11月JR名古屋カシマ美術画廊で研究生・修了生の作品展開催、日本橋高島屋で作品展開催（3月） ②推薦者3名に推薦依頼、5月加盟申請、9月に会員選出され法人会員として加盟 ③陶芸工房バンク新規成約4件、雇用定住奨励金1名1社認定、創作活動補助金9名交付 ④一次募集の応募者29名、入所考査で18名確保、二次募集考査実施（2月） ⑤一次入所考査で外国人研究生3名確保 2. ①市内陶磁器工業組合の19企業が研究会に参加、タイルと器のコラボ商品等13社が新商品開発を実施し1月の新春見本市・建築建材展（3月）等で成果発表 ②3DCAD講習会3件、3Dモデリング68件受託（1月時点）
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）

令和5年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部（農林担当）併農業委員会事務局
補職名・氏名	課長 前田 剛

組織目標兼管理職個人目標

目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1 有害鳥獣対策等の推進 農業者や農地に対する有害鳥獣被害防止の推進と鳥インフルエンザ防疫体制の確保	1. 有害鳥獣捕獲の実施 ①事業委託する猟友会（捕獲隊）との連携・捕獲体制の維持 ②豚熱（CSF）にかかる県、猟友会との調整 2. 地域・地元住民による捕獲体制の維持支援 ①狩猟免許取得支援補助金による捕獲隊員の増員 ②防護柵設置費補助金、鳥獣被害防止総合対策交付金（再生協議会）による農地の防護柵設置 ③残飯等の放置回避や忌避剤等紹介による被害防止策の周知 3. ジビエ加工の研究 ①フォーレサンノクラ等との調整 ②設置場所や規模、持続可能な運営方法などの研究 ③関係例規等の整備 4. 鳥インフルエンザ対策 「東濃・恵那地域家畜伝染病防疫対応マニュアル」による防疫体制の確保	1. -①R5年度から箱わな2基を増加、全60基の管理を猟友会に委託 1-②7/12岐阜県経ロワチナ対策協議会と情報交換、豚熱の市内発生状況は12月末まで4件（7/14喜多町・7/28笠原町・9/4小名田町・10/24大原町） 2.-①狩猟免許取得支援補助金：相談1件 2-②防護柵設置費補助金：申請7件合計222,500円（12月末）まで、7/6廿原・諏訪・大森の鳥獣被害防止総合対策交付金（ワイヤーメッシュ柵設置）交付決定したが諏訪町が申請取下げ、東栄町土岐川氾濫による柵被害対応のため10/13変更申請 2-③地区懇談会等の問合せに対し、木酢液等の忌避剤を紹介 3.-①②③加工場予定地を検討中も、豚熱発生によるイノシシ流通問題に苦慮 4. 東濃農林事務所要請により伝染病防疫措置に係る鳥インフルエンザ発生時の「集合場所」を決定（10/10）	T3
目標2 農業振興地域における農業振興と農地保全 農業の担い手確保及び地産地消の推進、「地域計画」の策定	1. 農振地域5地区（池田南・北小木・南姫・小泉・根本）を対象に農業経営基盤強化促進法による「地域計画」を作成（R5年度～R6年度） ①協議の場の設置に係る調整（R5年4月～R5年9月） ②農地の出し手・受け手の意向調査（R5年7月～R5年12月） ③各地区で協議の実施、取りまとめ（R5年10月～R6年3月） ④農業委員会作成の「目標地図」素案の確認・調整 2. 地産地消の推進 ①農産物直売所への支援（10周年イベントの実施等） ②農業祭の開催による農業、食育、地産地消のPR ③地元農産物の学校給食メニューでの採用 3. 池田南地区の活性化支援（フォーレサンノクラ支援） 4. 新規就農及び新たな営農組織設立に向けた支援 5. 各種交付金制度等を活用した農地の保全と利用促進 6. 農業再生協議会の運営 7. J Aと連携協力した市民農園の適正な管理運営 8. 岐阜県都市農務主管課長会議の開催	1.-①②③④6/12「地域計画策定に向けた連携キックオフ会議」参加、「協議の場」設置に向け7/4市・県・J A・農業委員会会長による戦略会議、10/26北小木地区連携会議を実施、1/10北小木地区「協議の場」で地域計画を協議。1/15池田南地区で連携会議を開催 2.-①6/3に10周年祭開催、来客数234人、売上175,122円。1月末で運営検討会議7回、11月末現在月額売上平均296万円（前年度比△145万円） 2.-②11/25農業祭開催。開会式での新規就農者3名を紹介、抽選会景品に新規就農者の米を採用・PR、農地相談会、豚汁配布等を復活 2.-③6月廿原イノシシ、7月ビーマン、11月廿原ワッコーと米、直売所から大根、12月姫トマト、1月市内産米（にこまる）各8,000食を提供 3. 各イベントでの出張販売を支援 4. 5. 各種補助金申請を支援 6. 化学肥料低減定着対策事業を実施 7. 市内9ヶ所管理 8. 12/21に21市農務主管課長会議で16議案（給食食材地産地消等）を協議	T2
目標3 森林経営管理制度推進等による森林保全 森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度の推進	1. 森林整備推進のため森林環境譲与税の活用 ①林地台帳整備（大沢町・大原町・西山町・根本町） ②森林経営管理制度推進に伴う意向調査の実施 ③間伐・除伐の実施 ④林業就業移住支援 ⑤森林環境譲与税の新たな活用策の研究 2. 官行造林解除と補償額の決定 ①官行造林の補償対象箇所及び補償額の決定 ②東濃森林管理署との連絡調整 3. 林政関係森林保全に関する事務の適正処理 ①保安林・林地開発具申事務 ②伐採届等の受理事務 ③緑化推進委員会に関する事務 ④森林関係団体との連絡調整 ⑤東濃農林事務所等連携した林政事務の適切な遂行	1.-①12月林地台帳を整備（計1,570筆） 1.-②笠原町1・2林班を除く所有者36人と廿原町141人の意向調査を実施中（3月完了） 1.-③スギ・ヒノキ人工林私有林で意向調査済みの笠原町吉野内森林（3筆、0.96ha、ヒノキ0.6ha）の所有者に再度意向確認。境界の明確化に難航、間伐・除伐の施業は見送り、森林経営管理集積計画作成へ向け事前調査を実施中 1.-④2名を支援 1.-⑤笠原小中学校建築スケジュールに合わせR7年度の基金充当を調整 2.-①②潮見の森（大洞池）隣接の6.15haを解除 3.-①保安林・林地開発具申2件を処理 3.-②伐採届12件を処理 3.-③春の「緑の羽募金」を学校、企業等に協力依頼、募金額337,828円 3.-④10月「木の日」、陶都森林組合等の市長要望等に対応、木曽川流域林政相談会に参加 3.-⑤東濃農林事務所林務担当者、森林アドバイザーと連携	T3
目標4 農業委員会制度の推進 農業委員会の円滑な業務推進と「目標地図」素案の作成	①農業委員への研修会等の実施 ②毎月の総会等事務の円滑な運営 ③農地法の権利移転許可等の適正な運用（通年） ④農地利用最適化活動の推進 ⑤農地利用状況調査（7～8月）、遊休農地の利用意向調査（11月）の実施 ⑥農地パトロールの効率化（タブレット端末の活用） ⑦農業委員による農業の担い手への農地の集積、集約の推進 ⑧農地の違反転用、非農地判断等の実施 ⑨農業委員改選事務の実施 ⑩地域計画の「目標地図」素案の作成 ⑪農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約の推進	①②③④⑨委員改選は6月議会承認、7/20辞令交付、新任委員初の総会を開催。8/30総会前に県農業会議担当者による委員新任研修を実施。8月・10月で計2名辞職。1/19最適化推進大会に参加（岐阜） ⑤8-10月農地利用状況調査（農地パトロール）、2月利用意向調査を実施 ⑥農業委員会がポータルシステムの全国的不具合を調整中 ⑦R4年度「岐阜県農業委員会活動優良表彰」新規参入の推進部門で8/17受賞表彰。12月 ⑧実績0件 ⑩1月先行実施した北小木地区の「協議の場」、池田南地区での連携会議に地元担当委員が参加、北小木地区の「目標地図」を作成 ⑪11/29廿原町の農地利用集積計画の意見聴取を実施	T3
目標5			0
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）	

令和5年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部 産業観光課
補職名・氏名	課長 久田伸子

組織目標兼管理職個人目標			達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1 セラミックパ レー構想の推 進、美濃焼産 業の振興及び 民間活力との 連携 地場産業の振 興・ブランディ ングに資する販 路拡張支援	1. セラミックパレー構想の推進 ①セラミックパレー展・CCC（セラミックパレー・クラフト・キャンブ）開催支援、国内 外への情報発信 ②美濃焼解剖本製作プロジェクト支援 ③「全国やきもの甲子園」の開催 2. 美濃焼の振興 ①中国邛崃市での美濃焼の販路拡大及び中国国内での「美濃 焼」商標権取得に向けた取組みの実施 ②セラミックパレー振興補助・タイル施工補助制度の積極的運用 ③販路拡大支援（テプ・ルウェアフェス等見本市出展支援） 3. 「やくも」を活用したやきもの関連事業の実施 4. やきもの産地連携協議会による共同事業実施 5. 美濃焼を使おう条例関連イベントの実施	1 ①セラミックパレー展 2/23-25 開催。CCCは3/16-17に可見市で開催②美 濃焼解剖本の制作について、検討会議に出席②財源確保策とし て、補助制度等を相談、また、法人化等に関して助言 ③応募総数129点、応募者数122名、学校数29校。審査員からの評価 で作品がレベルアップ 2 ①中国邛崃市での展示会は次年度に延期となったが、景德鎮との 連携も始まり、R6.5月訪問予定 ②セラミックパレー振興補助金11件補助、タイル施工補助金24件補助 ③テプ・ルウェアフェスティバルは開催場所が東京ドームからプリズムホールに変更。 12/5-12/11開催 3 「やくも」の活用事業として、10/7-9 美濃焼祭でステージイベントろ くろバトルを開催。2月中旬にフィッシングバスの運行を開始。2/17～やき もの甲子園の展示に合わせて美濃焼ミュージアムで原画展を開催 4 2/22 多治見市にて研修会を実施。次年度から幹事市となるた め、共同事業の提案に向け準備中 5 10/2-12/6 実施。好評につき期間を待たずに終了	T2
目標2 観光誘客事業 の推進 市内観光資源、 アニメツーリス ム等を活用した 観光誘客事業の 実施、広域観光 連携事業の実施	1. 多治見インバウンド推進プロジェクト（TIP）の推進（たじ みDMOとの連携事業） ①空港、駅を中心としたPR広告 ②商品開発、情報PR発信、交通・宿泊、食の各部会による事業 立案支援 ③ウイング・トラベル・エージェンツへの情報掲載推進 2. イベント、観光事業の完全開催 3. 東美濃歴史街道協議会による広域観光連携事業推進 ①名古屋市内でのMEETS HIGASHIMINOの開催 ②地酒・酒器振興事業 4. 自治体間連携事業の実施（春日井市他） 5. ANA等の民間企業と連携した高級旅行商品の開発 6. 「うながっぱ」や「やくも」等を活用した観光PRの実施 7. SNSを活用した観光情報の発信	1 ①中部国際空港及び関西国際空港で10～11月にデジタルイメージを利用 したPRを実施②全体会議、リーダー会議により次年度事業計画を策 定。12月補正・R6年度当初にて事業費を計上。民泊支援、アット調 査、MEO対策、SNS発信強化、外国語ガイドの創設等を中心に事業を 開始 ③DMOが旅行商品の開発（観光庁補助活用）を行い、OTAへ情 報を10件掲載 2. 4/15-16に陶器まつり、7/30に花火大会、10/7-8-9に美濃焼祭 をコア前と同様に開催。11/21 ふるさと納税PRを目的としたワタパ 本社ビルでの物産展、1/12-14 大垣共立銀行石川橋支店での多治見 の高級品物産展「Taichi Blue」を新たに開催 3. ①東美濃歴史街道協議会において今年度は開催をしないと決定 ②3/2-3 もとてらすで地酒イベントを実施 4. 春日井市とサティと美濃焼による共通返礼品の開発を実施。 8/10にプレスリリース、12月から開始。11/30に大山市、2/20に多治見 市にて意見交換会を行い、具体的な観光誘客連携事業を協議。名鉄 グループによるCo-machi会議に3回出席。名古屋圏との連携事業につ いて研究 5. インバウンド推進協議会で、体験型ツアーをカタログ掲載 6. 美濃焼祭で、トークショー・ろくろバトル等、やくもイベントを開催。 うながっぱの誕生日イベントを8/16-20まなびパークで開催 7. 随時実施	T2
目標3 経済対策、地 域経済の活性 化 市況を踏まえた 迅速かつ柔軟な 経済対策の実 施、中小企業等 の支援による地 域経済の活性化	1. 商工会議所と連携した経済対策 ①中小企業支援・新事業支援事業の実施 ②陶磁器関連事業の支援補助の創設 ③原料高騰関連の地場産業支援の実施 2. 企業・創業支援、事業継続支援 ①き業展・企業お見合いの実施 ②起業支援センターの活用 ③創業支援セミナーの開催 3. 商工会議所連携事業・多治見で働くプロジェクトの推進 4. 女性、高齢者、障がい者の就労支援、定着支援など安心して 働き続けられるためのセミナー開催	1. ①新事業突破補助金をデジタル田園都市国家構想交付金を活用し て実施。10月～12月募集し、5件を2/27 に最終審査。次年度の事業 実施を支援 ②7月にやきものづくり応援補助金を実施、40社補助 ③LPガス等の燃料高騰分の補助制度11月から実施。10月以降の値上 げに対し、制度の内容を一部変更して2月から再度実施 2. ①1/26-27 「き」業展開催。実行委員会主導でネットGPTの活用セ ミナーやビジネス講演会を開催。企業お見合いは、発注企業101社、受 注企業118社、商談数286件②おおむね満室を維持。入居者のサポート は随時実施③7/8～4回、産業文化センターで開催 3. 多治見で働くプロジェクトを、5/20に開催。2回目を10/28に開催 （17企業出店、32人来場） 4. 定着支援セミナーを12/15、育児休業復帰セミナーを2/5に開催	T2
目標4 中心市街地の 活性化 DMO、商工会議 所、金融機関及 び民間事業者等 との連携による中 心市街地の活性 化	1. 新・中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進 2. 空き店舗対策・出店促進 ①たじみDMOのまちづくり基金の原資となる寄附を募集 ②さかさま不動産との連携 ③空き店舗ツアーの開催、物件と出店者とのマッチング促進 3. ビジネスアランメントの実施（1月） ①事業のPR活動、募集及びセミナー開催 ②1次審査（9月）、プレッシャアップ（～1月）、最終審査（1月） 4. 商店街空中スリッパ事業（7月） 5. 虎渓用水広場、駅モール等駅周辺の賑わい創出	1. 新計画の冊子を作成し、全小中学校にも配布。11月号広報で特 集。7/30にびしょびしょ祭りをDMOが開催。美濃焼祭の開催に合 わせ、10/8-9 コメヘスを開催 2. ①寄附を2件受領②物件と出店者とのマッチング促進のため、コ デイナー制度を創設。イベント開催により周知 3. ①4月からPRを開始、6月-8月で募集。14件の応募があり9/14一 次審査にて、ファイナリストを8名選出。高校生部門は23件応募があり、8 組をファイナルに選出 ②最終審査会1/27 4. 商店街空中スリッパ5月～8月実施 5. 12/3 イルミネーション点灯式・たわけまるけ、12/16 サタまるけ、1/13 サタまるけ、2/10 チョまるけ等、DMOにより随時イベントを開催	T3
目標5 適正な事務の 執行 各事業、手続き、 関係団体等、会 計処理等の事務 の適正執行	①旧勤労青少年ホームの係争に関する業務 ②市営駐車場関係事務 ③鉱業法、採石法、砂利採取法関係事務 ④中小企業への融資・利子補給等関係事務 ⑤産業観光振興計画の進捗管理 ⑥各種補助事業関係事務 ⑦国内外観光イベントの調査、研究 ⑧所管指定管理施設関係事務 ⑨商工業関係団体関係事務 ⑩発明協会関係事務 ⑪部内調整事務・産業観光課予算・決算	①最高裁の上告棄却により、勝訴確定。明渡しも完了。解体に向け て手続きを実施 ②駅の南北ロータリーで機械の不具合があり、対応 ③④随時実施 ⑤産業観光振興計画を策定。委員会でのワークショップ・意見交換を行い 3月の委員会で確定、冊子を作成・配布 ⑥～⑨随時実施 ⑩発明クラブを運営。9/10くふう展表彰式を開催 ⑪随時実施	T3
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自 己研鑽、職員提案活動、施策の紹 介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）	

令和5年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部	企業誘致課
補職名・氏名	課長	水野 直喜

達成度		
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）
目標1 次期テクノパークの着手と開発候補地の調査・研究 市有地活用のテクノパーク開発 中長期的な開発候補地の調査・研究	1. 次期テクノパークの開発着手 ①笠原町地内の市有地活用の最終決定（5月末） ②詳細設計・整地工事等の適正な実施（3月末） ③土壌汚染対策法等関連法規の適正な履行（3月末） ④地元住民との協議・調整 ⑤関係機関等との円滑な協議（随時） 2. 中長期的な開発候補地の調査研究 ①開発候補地の調査研究の実施（2月末） ②公共施設管理課等との情報共有及び施設跡地活用の調査研究（通年） ③新たな開発候補地の選定（3月末）	1. ①土地開発公社理事会（5/17）、市議会全議員集会（5/29）において実施説明 ②整地準備工完了（8月）、土地鑑定（12月）、測量設計業務及び詳細設計業務を完了（3月） ③委託事業者と打合せを重ね、東濃県事務所と協議・見解確認（12月） ④地元住民・議員に概要周知。隣接地権者との用地交渉開始（2月） ⑤砂防国道事務所と区域境界確認（11月）。開発指導課（随時）、企画防災課（2月）と協議 2. ①新たな開発候補地の情報収集（随時） ②統廃合施設の用地情報を共有（随時） ③次期開発候補地の活用方法について民間事業者と協議（2月）
目標2 誘致企業の地域貢献事業支援と地域経済への波及促進 進出企業へのアフターフォローと地域、地元産業との連携強化	1. 進出企業へのアフターフォロー ①進出企業による地域貢献事業への適切な支援（トヨタ多治見サビセンターへの社会見学、アマゾン多治見フルフィルメントセンター青空マーケット他・通年） ②進出関連企業のニーズに対する新たな企画の提案及び市内企業とのマッチング ③地元対応等の相談への的確な支援（通年） 2. 誘致企業等の増設等に対する支援 ①進出企業の増設への助言と事業の推進サポート（長瀬テクノパークの増設、三光化成の新工場建設） ②民間企業の増設等に関する助言指導（通年） ③工場立地法の届出に関する支援、事業所等設置奨励金に該当する企業の届出支援（通年）	1. ①トヨタサビセンターのフードドライブ（年5回）・技能五輪見学（11月）・社会科見学（12月）、アマゾンの青空マーケット（年5回）、アマゾン・NGKセミックパイスの市内一斉清掃・花火清掃、トヨタ紡織の清掃活動（2回）の支援 ②トヨタサビセンター・NGKセミックパイスに新たな活動提案（福祉活動等）。地元企業へ商談支援（2件）、ハローワークと連携し企業説明会実施（3件） ③三光化成、水谷産業の新設工事における地元対応支援（随時） 2. ①三光化成の新工場建設において円滑な関係課協議支援を行い計画どおりに2月竣工 ②民間企業の開発事業に関し関係課協議（随時） ③工場立地法の助言1件、奨励金の申請支援9社
目標3 第1期高田テクノパークの誘致活動・適正管理と企業サポート 優良企業誘致活動 企業からの相談等へのサポート	1. 事業用地の誘致活動及び適正管理 ①第1期高田テクノパークへの企業誘致活動（通年） ②JR東海との用地使用に関する協議及び適正管理（総務課と連携：通年） ③地元との良好な関係構築に向けた対応（通年） 2. 各種奨励金による企業サポート ①事業所等設置奨励金の確実・迅速な交付（9社9件） ②雇用促進奨励金の周知と申請手続き支援（29人） ③移住定住促進奨励金による転入促進（3人） 3. 企業からの相談・要望等への支援 ①土地取得や各種行政手続きへの支援（通年） ②テクノパーク周辺の草刈り等環境整備（随時）	1. ①企業訪問、企業展等で誘致活動実施（随時） ②JR東海と連絡を密にし用地の適正管理を実施（随時）。用地法面の防水シート修繕（5月） ③大型車両の通行等地元区長・住民に対しの確かな情報提供、豪雨後の用地周辺環境整備（林道等） 2. ①事業所等設置奨励金の支払（9社9件） ②雇用促進奨励金の申請審査・支払い（5社16件）、及び誘致企業に対し制度周知（7月） ③企業訪問や各種相談時に制度周知（随時） 3. ①駐車場等市有地借用支援、カーナビ設置支援 ②進出企業の要望に応じ、緑化公園課・総務課に支障木の伐採依頼（随時）
目標4 誘致活動の体制整備と適正な事務の執行 企業進出意欲を増進させる体制づくりと積極的なPR活動、迅速な事業遂行とレスポンス	1. 誘致活動の体制整備 ①事業の円滑実施のためのプロジェクト会議開催 ②企業誘致促進協議会の展示会等出展やメディアを使ったPR活動実施 2. 誘致PRの推進及び事務の適正な執行 ①パンフレットやホームページ等による効果的な営業活動 ②進出企業への市民雇用、従業員の市内定住を促進するため企業への積極的な優遇制度を周知 ③5S+Sの適正実施による多治見市の良さを強調 3. フロントリサーチパーク地区画の訴訟対応（総務課と連携）	1. ①プロジェクト会議開催（2月） ②展示会出展によるPR活動実施（10月、11月）、ホームページでの周知（随時） 2. ①PRパンフレットを最新版に修正（誘致活動、展示会等で活用）。岐阜県が出展する企業展に連携協力（1月）。ホームページを最新情報に更新（随時） ②進出企業及び進出予定企業に対し奨励金事務等対応の折に制度周知。③広報にて進出企業の雇用につながる特集を掲載（12月号） ③5S+S、スピードと正確さ等多治見市の強みをPRパンフに記載し、面談時にアピール（随時） 3. 総務課と連携し訴訟対応。第1審判決（8/21）の結果を受け控訴状提出（9/4）、用地買戻し等12月議会で報告
目標5		
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）
		0

令和5年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	陶磁器意匠研究所
補職名・氏名	副所長 石塚 晋一

組織目標兼管理職個人目標

目標		実施する業務の内容		成果（評定時に記入）		達成度
目標1	産業界の動向に迅速かつ高度に対応するためのデザイン支援の強化	①たじみDMOや市内陶業界との3Dモデリング研究会開催(年4回)及び新商品開発のデザイン試作支援 ②多陶商・高田陶工組と連携した中国邛崃市の酒造メーカー向け美濃焼酒ボトル等の新商品開発 ③商品開発における女性・若手人財参画支援のための先進事業所等見学会の開催(年2回) ④3Dモデリングに係る技術相談・説明会等の随時実施 ⑤3DCADデータ作成等デザイン受託業務の迅速な実施 ⑥3Dモデリングや製造技術に係る先進事例の調査及び業界との情報共有		①研究会参加19企業中13社(飲食器:7社、タイル:6社)と新商品開発を実施。1月に新春見本市、2月にPRセンターでテスト販売、3月の建築建材展、クリスマス多治見店で成果発表展実施。試作9点を陶磁器フェスティバルに応募 ②6月時点で生産体制は整うが邛窯遺跡博物館オープン延期によりボトルの生産も停止中(再開時期未定) ③11、12月にタイルと飲食器の2企業(瀬戸市、笠原町)の見学会を実施。市内企業から延べ10人参加 ④3DCAD講習会3件、国内外からの視察者に3Dモデリング機器の説明等を随時実施中 ⑤1月末時点で3Dモデリングを68件受託。迅速な対応で依頼企業から高評価 ⑥12月岐阜県高山生活技術研究所の3Dモデリング活用事例を視察		T2
	陶磁器産業・文化の両面で世界とつながるための国際交流事業の拡大	①中国邛崃市との人的交流(意匠研究所職員の派遣・邛崃陶芸家の受け入れ)等による国際交流の推進 ②IAC国際陶芸学会への意匠研究所の団体会員加盟(応募書類作成、推薦者との調整等) ③陶磁器フェス実行委員会コンパ作業部会への職員参加 ④海外の美術館・大学等と連携した授業の実施 ⑤外国人研究生等の受け入れを迅速・適切に行うための情報収集及び情報の職員共有		①令和6年5月の邛窯遺跡博物館の現地調査実施に向け情報収集を継続中 ②推薦者3名に推薦依頼、5月加盟申請、9月に法人会員選出通知を受け法人会員に加盟。政策課題説明会及び市長定例記者会見で発表 ③12月にフェスの中国及び米国視察のスケジュール調整補助、フェス受賞者支援事業に従事 ④6/14に台湾デザイン研究院視察時に授業を実施 ⑤出入国管理局のオンラインシステム利用に係る定期報告を実施し必要に応じて活用できる体制を構築。近隣空き家情報を収集、持主へシェアハウス等への活用提案を行った。国際陶芸学会からのニューズレターを通した海外の陶芸に関する最新情報を職員間で情報共有		T2
目標3	優秀な人材獲得に向けた研究生の募集強化と陶芸家移住・定住促進事業の推進	1. 研究生安定確保に向けた募集活動の効果的実施 ①シェアール名古屋カシマ美術画廊での研究生・修了生作品展開催 ②外国人研究生応募者3名以上確保、デザイン・技術コース研究生応募者20名以上確保 ③DXを活用したWeb所内見学等の効果的実施 ④陶磁器フェスと連動した研究生募集PRの検討 2. 修了生等陶芸家移住定住策の推進 ①修了生雇用・定住促進奨励金の運用 ②修了生創作活動支援補助金の運用 ③陶芸工房バンクの新規物件掘り起こし		1. ①11月展覧会を実施、有識者61名他多くの来場者にPR。新たに日本橋高島屋での開催が決定し3月実施②11月一次募集入所審査で27名(応募者40名)を確保。二次募集(募集2名)を準備中 ③海外向けWeb所内見学の体制整備を完了。動画を活用した展覧会情報を5件発信 ④陶磁器フェスと連動した研究生募集PRを実施。フェス協賛展覧会への出展を準備中 2. ①R4年度修了生1名1社認定済。R3年度修了生2名2社交付済②9名交付済。現役2年生に制度説明。修了生からの問合せに対応 ③6月に一斉調査を実施。随時HP更新。新規物件1件、新規利用者を登録11名。新規成約3件(紹介9件)。問合せ対応(18件1/9現在)		T3
目標4	安心・安全な製品づくりのための食器安全対策事業の実施	①鉛・カドミウム溶出試験の企業向け講習会の開催 ②釉薬層の厚さや種類差による貫入発生具合の検証実験実施 ③鉛・カドミウム溶出試験2,500件、スボールリング試験1,500件への安定・迅速対応可能な体制構築 ④東濃四試験研究機関技術者の相互連携による難易度の高い技術相談への対応力強化及び情報共有 ⑤安心・安全な製品作りに向けた欠陥原因、著作権、環境問題に係る法令等の研究生への授業実施 ⑥試験依頼申し込みのDX化		①9月講習会資料完成。10月市内陶磁器関連組合や窓口にて案内開始。12月末時点で延べ6社11名受講 ②釉薬の厚みを変えたテストピースを作成、研究生の参考資料に活用 ③溶出試験とスボールリング試験の両方を担当できるように担当者を交互に配置。12月末時点で溶出試験1865件、スボールリング試験1098件実施 ④当所での対応不可な試験を実施可能な機関紹介や、結果通知書の記載事項について意見交換 ⑤1年生に食器安全対策に関する授業を2月実施 ⑥Logoフォームで研究生にアンケートを実施し課題を抽出。窯の貸出への活用を検討。活用に向けた課題について引き続き検討中		T3
目標5	業界団体等との連携の強化	①デザイン室や食器安全対策室等を活用した陶磁器関連情報の所内共有 ②東濃四試験研究機関協議会等、関係機関との連携・情報交換を実施し地域課題を所内共有 ③デザイン担当者会議、デザイン関連展示会等の視察を通した最新情報の収集 ④地元陶磁器関連団体との良好な関係構築に向けた情報共有の推進		①外部等からの相談内容と回答を電子チャットで所内情報共有 ②6月四試験協議会に出席し各機関の状況等の情報収集実施。6月全国公設鉱工業試験研究機関事務連絡会議に依頼試験のDX化について議題提出 ③11/16、第54回デザイン担当者会議にweb会議で参加。北海道から佐賀県まで、窯業地の現状について情報交換を実施し、所内で情報共有を実施 ④市之倉、滝呂、高田、笠原陶工組の陶祖祭、上絵加工工組や美濃焼衛生対策協議会等の会議に出席し意見交換と情報共有を実施		T3
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		(目標設定)		(成果)		